

2024年度小児科学教室業績

(2024年4月～2025年3月)

教授 徳原大介
准教授 島 友子, 田村 彰(医療安全推進部)
講師 神波信次, 末永智浩, 垣本信幸
助教 杉本卓也, 利光充彦(総合周産期母子医療センター), 鈴木崇之, 土橋智弥, 市川貴之,
平山健太郎(総合周産期母子医療センター), 前田真範(小児成育医療支援学講座)
篠崎浩平(小児成育医療支援学講座),

研究概要

【消化器・肝臓グループ】小児の消化器肝臓疾患を専門的に診療しています(毎週水曜午前)。ご紹介いただく患者さんの訴えは腹痛・下痢・血便・肝障害が多く、原因疾患としてはクローン病・潰瘍性大腸炎や胃・十二指腸潰瘍、過敏性腸症候群や機能的便秘症、自己免疫性肝炎やB型肝炎、脂肪性肝疾患など多岐にわたります。近年、和歌山県内ではクローン病などの小児の炎症性腸疾患(IBD)が増加傾向あり、年間10～15例の患者さんを当科では診断しており、常時30名以上の小児IBD患者さんの診療にあたっています。また、先天性心疾患の術後の肝障害(フォンタン術後肝合併症)については、国内で有数の診療・研究実績を備えています。さらに、ひだか病院(第1木曜午後)や新宮医療センター(第2火曜午後)、海南医療センター(第2・4木曜午前)に小児の消化器専門外来を設け、IBD含め様々な小児消化器疾患の専門的な診療を県内各地域で患者さんが受けることができるよう取り組んでいます。

検査に関しては、小腸カプセル内視鏡による小腸検査、pHインピーダンスモニターによる胃食道逆流検査、ファイブロスキャンによる肝硬度・脂肪肝測定検査を当科独自検査として実施し、IBDが疑われる場合には、積極的に全消化管内視鏡検査を行なっています。

研究に関しては、様々な小児疾患における腸内細菌叢を小児科占有の次世代シーケンサーを用いて解析し病態解明に取り組むとともに(井中・篠崎・川本)、腸管や呼吸器を覆っている粘膜に備わる免疫「粘膜免疫」を利用した諸感染症に対する粘膜ワクチンの開発研究を展開し(土橋)、ノロウイルスに対する粘膜ワクチン開発研究はAMEDの橋渡し研究に採択されています。

【循環器グループ】循環器グループは、先天性心疾患、川崎病・心筋症を中心とする後天性心疾患の臨床、研究を行っています。先天性心疾患については胎児診断のついた症例や生後に診断された重症心疾患の診断・治療に当たっており、その手術については、心臓外科の協力のもとに年間平均70症例前後行っています。その際、重症例の診断や手術適応の判断、小児内科的な術前術後管理を担当し、さらに、手術適応には至らないまでも小児科的管理の必要な多数の症例については外来で経過観察しています。川崎病に関して、臨床研究面では、川崎病医師主導治験(重症川崎病患者を対象とした免疫グロブリン+シクロスポリンA併用療法:KAICA trial)に中心的な施設として参画し、新たな治療法開発を研究中です。症例登録は終了し、結果の解析中ですが良好な成績が得られており間もなく論文に発表される予定です。また、循環器内科の先生の援助のもと、光干渉断層法(OCT)を積極的に取り入れ、川崎病冠動脈病変を有する患児の遠隔期の心臓カテーテル検査において、冠動脈病変のより精密な評価を行い、遠隔期の管理や治療法の開発にも取り組んでいます。基礎研究面では、分子生物学的手法を用いて病因究明(溶連菌由来のスーパー抗原の関与など)に挑戦中で、さらに、シクロスポリンの治療効果の作用機序解明(炎症性サイトカイン関連の細胞内シグナル伝達の解析)にも挑んでいます。

【腎グループ】IgA腎症およびネフローゼ症候群の治療法を確立するための全国多施設による臨床治療研究(厚生労働省科学研究、小児IgA腎症治療研究会、小児難治性腎疾患治療研究会)を進め、成果をあげている。IgA腎症、紫斑病性腎炎、ネフローゼ症候群、Alport症候群、多発性嚢胞腎等の分子生物学的・形態学的手法を用いた

病態解析を行っている。

【神経グループ】和歌山県立医科大学小児科が日本小児神経学会専門医研修施設に登録されており、小児神経疾患全般の治療を担当している。一次救急であるけいれん重積発作から ICU 管理を要する重症疾患まで対応している。てんかんなどけいれん性疾患において病棟内でのビデオ・脳波記録装置を用いた臨床的診断を行っている。急性脳炎・脳症の病態生理に関する基礎的研究にも取り組んでいる。(Chemokine expression in human astrocytes in response to shiga toxin 2. *Int J Inflam.* 2012)また摂食障害や心身症にも対応しており、入院加療を行っているなかで臨床的な研究を行っている(Total parenteral nutrition treatment efficacy in adolescent eating disorders. *Pediatr Int.* 2015)

【小児がん・血液グループ】すべての小児がん、血液疾患を治療しています。小児がんの発生日は様々ですが、脳神経外科(脳腫瘍)、整形外科(骨軟部腫瘍)、小児外科(神経芽腫、腎芽腫、肝芽腫)、眼科(網膜芽腫)、皮膚科(血管腫)、放射線科(放射線治療)と共に集学的治療を行っています。また、当科は日本骨髄バンク、臍帯血バンクからの非血縁者間造血細胞移植認定施設であり、小児がん・血液疾患に対するすべての治療を小児医療センター内で完結することができます。また、若年性特発性関節炎(関節リウマチ)などの自己免疫疾患、炎症性腸疾患、原発性免疫不全症、自己炎症性疾患についても診療を担当しています。

【未熟児・新生児グループ】県内唯一の総合周産期母子医療センターとして、新生児専用救急車、ドクターヘリで県内の新生児救急に 24 時間に対応している。産科・小児外科・心臓血管外科・眼科など各科と協力しながらあらゆる新生児疾患を対象とし治療している。早産児の頭蓋内出血発症をいかに予防するかを重要な課題とし、適切な循環管理を目的としたエコーによる血流評価や皮膚ドップラー血流計による研究を行っている。また慢性肺疾患をいかに軽減することも重要な課題で、高頻度振動換気、一酸化窒素吸入療法を取り入れ、肺高血圧症治療薬を併用しながらの早期抜管に取り組んでいる。症例を選択して INSURE strategy(Intubation-Surfactant-Extubation)も導入している。

【遺伝グループ】臨床遺伝専門医による先天異常疾患の総合的な診療を行っています。ダウン症候群を中心とする染色体異常症、遺伝性疾患、原因が不明な奇形症候群など様々な先天異常症を対象としています。各疾患・症候群の診断、情報の提供、合併症への早期の対応、成長や発達を含む長期的な健康管理や療育相談などを、必要に応じて院内の他診療科や、県内の療育施設とも連携して行っています。また最近の遺伝子研究の進歩により遺伝子検査が普及しつつあり、研究機関と連携して対応しています。外来は毎週木曜日で、うち第 1 木曜日にカウンセリングを行っています。院内や各医療機関から紹介頂いた患者様を対象とし、十分な時間をかけて各疾患に関する正しい情報の提供と様々な問題について相談をお受けしています。ご相談の内容や検査結果等のプライバシーについては厳重に保護しております。

【内分泌グループ】低身長・低体重をはじめ、思春期早発症など学校健診成長曲線・肥満度曲線に関する疾患を中心に、甲状腺疾患、糖尿病、副腎疾患やくる病・Ca 異常、性分化疾患、脂質異常症など幅広く診療しています。また、第一内科(糖尿・内分泌代謝内科)と連携し、和歌山つぼみの会(1型糖尿病小児の患者会)の運営や和歌山市の学童糖尿病検診委員会活動等も行なっています。

著書

a)学術

1. 島 友子：腎疾患の診断と治療最前線 II.各論 1 糸球体疾患(診断と治療)5 IgA 腎症 小児 P.87-91 腎と透析 2024 年 97 巻増刊号 東京医学社 東京, 2024.12.15

b)その他

1. 石毛 崇, 徳原大介, 肥沼 幸, 清水泰岳, 市川貴之, 佐浦龍太郎, 篠崎浩平, 高木祐吾, 細見周平, 肥塚

慶之助, 細井賢二, 八木龍介, 吉田正司: 炎症性腸疾患患者への予防接種. 免疫不全状態にある患者に対する予防接種ガイドライン 2024, 監修 一般社団法人日本小児感染症学会, 編 免疫不全状態にある患者に対する予防接種ガイドライン 2024 作成委員会, 制作 協和企画, 2024, p.80-93.

2. 徳原大介, 他: 「炎症性腸疾患患者さんのワクチン接種について Q&A.」(web 公開・リーフレット) 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業 難治性炎症性腸管障害に関する調査研究 (久松班). 2024 年 8 月発行.
3. 徳原大介, 他: 「こどものクローン病ガイド (患者用)」(web 公開)厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業 難治性炎症性腸管障害に関する調査研究 (久松班). 2024 年 3 月発行.
4. 徳原大介, 他: 「こどものクローン病ガイド (保護者用)」(web 公開)厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業 難治性炎症性腸管障害に関する調査研究 (久松班). 2024 年 3 月発行.
5. 徳原大介, 他: 「こどもの潰瘍性大腸炎ガイド (患者用)」(web 公開)厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業 難治性炎症性腸管障害に関する調査研究 (久松班). 2024 年 3 月発行.
6. 徳原大介, 他: 「こどもの潰瘍性大腸炎ガイド (保護者用)」(web 公開) 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業 難治性炎症性腸管障害に関する調査研究 (久松班). 2024 年 3 月発行.
7. 島 友子: あなたの質問にお答えします Q:IgA 腎症と診断された子どもがいます P63-65 健 第 53 巻 1 号 日本学校保健研修社 京都 2024.4.1
8. 鈴木崇之: 新生児科研修医のための新生児のエコーと画像検査 第 4 回 心エコー: 後編, 赤ちゃんを守る医療者の専門誌 with NEO 37(3), 297-303, 2024.
9. 平山健太郎: 新生児科研修医のための新生児のエコーと画像検査 頭部エコー, 赤ちゃんを守る医療者の専門誌 with NEO 37(4), 1-5, 2024.
10. 利光彦彦: 和歌山県における拡大新生児マスキングの現状と課題 新生児マスキング通信 各地区の新生児マスキングの現状と課題-2, 21, 2024.8

総説

1. Tsuchihashi T, Cho Y, Tokuhara D. Fontan-associated liver disease: the importance of multidisciplinary teamwork in its management. *Front Med (Lausanne)*. 2024 Nov 27;11:1354857.
2. 徳原大介: 細菌・ウイルス検査. 小児科診療. 87(9):1261-1265,2024
3. 徳原大介: 予防接種用薬. 堀 正二, 他 編集. 治療薬ハンドブック 2025. じほう ; 2025
4. 辻本 弘, 井上徳光:凝固と補体のクロストーク 補体介在性疾患の分子メカニズム. 臨床血液 65 巻 6 号. 576-583, 2024.6

原著

1. Kogiso T, Tokuhara D, Ohfuji S, Tanaka A, Kanto T. Evaluation of diagnostic criteria for mild-to-advanced stages of Fontan-associated liver disease: A nationwide epidemiological survey in Japan. *Hepatol Res*. 2025 Apr;55(4):611-621.
2. Barbour SJ, Coppo R, Er L, Pillebout E, Russo ML, Alpers CE, Fogo AB, Ferrario F, Jennette JC, Roberts ISD, Cook HT, Ding J, Su B, Zhong X, Fervenza FC, Zand L, Peruzzi L, Lucchetti L, Katafuchi R, Shima Y, Yoshikawa N, Ichikawa D, Suzuki Y, Murer L, Wyatt RJ, Park C, Nelson RD, Narus JH, Wenderfer S, Geetha D, Daugas E, Monteiro RC, Nakatani S, Mastrangelo A, Nuutinen M, Koskela M, Weber LT, Hackl A, Pohl M, Pecoraro C, Tsuboi N, Yokoo T, Takafumi I, Fujimoto S, Conti G, Santoro D, Materassi M, Zhang H, Shi S, Liu ZH, Tesar V, Maixnerova D, Avila-Casado C, Bajema I, Barreca A, Becker JU, Comstock JM, Cornea V, Eldin K, Hernandez LH, Hou J, Joh K, Lin M, Messias N, Muda AO, Pagni F, Diomedi-Camassei F, Tokola H, D'Armiento M, Seidl M, Rosenberg A, Sannier A, Soares MF, Wang S, Zeng C, Haas M. Histologic and Clinical Factors Associated with Kidney Outcomes in IgA Vasculitis Nephritis. *Clin J Am Soc Nephrol*. 2024; 19: 438-451. doi: 10.2215/CJN.0000000000000398.
3. Ueda C, Horinouchi T, Inoki Y, Ichikawa Y, Tanaka Y, Kitakado H, Kondo A, Sakakibara N, Nagano C, Yamamura T, Fujimura J, Kamiyoshi N, Ishimori S, Ninchoji T, Kaito H, Shima Y, Iijima K, Nozu K,

- Yoshikawa N. Clinical characteristics and outcomes of immune-complex membranoproliferative glomerulonephritis and C3 glomerulopathy in Japanese children. *Pediatr Nephrol.* 2024; 39: 2679-2689. doi: 10.1007/s00467-024-06377-7.
4. De Mutiis C, Wenderfer SE, Basu B, Bagga A, Orjuela A, Sar T, Aggarwal A, Jain A, Boyer O, Yap HK, Ito S, Ohnishi A, Iwata N, Kasapcopur O, Laurent A, Chan EY, Mastrangelo A, Ogura M, Shima Y, Rianthavorn P, Silva CA, Trindade V, Tullus K. Development of clinical and laboratory biomarkers in an international cohort of 428 children with lupus nephritis. *Pediatr Nephrol.* 2024; 39: 2959-2968. doi: 10.1007/s00467-024-06405-6.
 5. Ishimori S, Horinouchi T, Yamamura T, Fujimura J, Kamiyoshi N, Kaito H, Tanaka Y, Matsukura H, Shimabukuro W, Shima Y, Kawaguchi A, Araki Y, Nakanishi K, Hara S, Nozu K. Role of Iron in Children With Immunoglobulin A Nephropathy and Macrohematuria-Induced Acute Kidney Injury. *Kidney Int Rep.* 2024; 9: 1664-1673. doi: 10.1016/j.ekir.2024.03.003.
 6. Vivarelli M, Samuel S, Coppo R, Barratt J, Bonilla-Felix M, Haffner D, Gibson K, Haas M, Abdel-Hafez MA, Adragna M, Brogan P, Kim S, Liu I, Liu ZH, Mantan M, Shima Y, Shimizu M, Shen Q, Trimarchi H, Hahn D, Hodson E, Pfister K, Alladin A, Boyer O, Nakanishi K; International Pediatric Nephrology Association. IPNA clinical practice recommendations for the diagnosis and management of children with IgA nephropathy and IgA vasculitis nephritis. *Pediatr Nephrol.* 2025; 40: 533-569. doi: 10.1007/s00467-024-06502-6.
 7. Inada Y, Kawaguchi A, Kunimoto K, Hara T, Inaba Y, Yamamoto Y, Kakimoto N, Suenaga T, Tokuhara D, Jinnin M: Analysis of infantile hemangioma without proliferation after birth. *GHM Open.* 2024 Nov 30;4(2):80-83. doi: 10.35772/ghmo.2023.01022..
 8. Kakimoto N, Suzuki H, Taruya A, Takeuchi T, Suenaga T, Tsuchihashi T, Suzuki T, Shibuta S, Ino Y, Tanaka A, Tokuhara D: Vasa vasorum enhancement on optical coherence tomography in Kawasaki disease: *Pediatr Res.* 2025 Feb;97(3):1090-1095. doi: 10.1038/s41390-024-03431-w. Epub 2024 Jul 22.
 9. Shiono Y, Takahata M, Ino Y, Tanimoto T, Kakimoto N, Suenaga T, Suzuki T, Taruya A, Wada T, Ota S, Ozaki Y, Kashiwagi M, Kuroi A, Yamano T, Kitabata H, Tokuhara D, Tanaka A: Pathological Alterations of Coronary Arteries Late After Kawasaki Disease: An Optical Coherence Tomography Study. *JACC Adv.* 2024 Apr 17;3(6):100937. doi: 10.1016/j.jacadv.2024.100937. eCollection 2024 Jun.
 10. Kakimoto N, Suzuki H, Taruya A, Takeuchi T, Suenaga T, Tsuchihashi T, Suzuki T, Shibuta S, Ino Y, Tanaka A, Tokuhara D. Vasa vasorum enhancement on optical coherence tomography in Kawasaki disease. *Pediatric Research.* 2025 Feb;97(3):1090-1095.
 11. Tsujimoto H, Kounami S, Ichikawa T, Tokuhara D. Granulocyte morphological abnormalities and molecular diagnosis of SRP54 deficiency in severe congenital neutropenia. *Pediatr Int.* 2025;67(1): e15881. doi:10.1111/ped.15881
 12. Suzuki T, Kitano N, Kakimoto N, Suenaga T, Sibuta S, Takeuchi T, Suzuki H, Tokuhara D, Clinical Research Network of the Wakayama Kawasaki Disease Study Group: Predicting coronary artery abnormalities development using coronary Z-score and clinical parameters before the treatment for Kawasaki disease, *JCK Asian Pacific Heart Forum* 2024, July 12-13, 2024, Fukuoka
 13. Suzuki T, Kitano N, Kakimoto N, Suenaga T, Sibuta S, Takeuchi T, Suzuki H, Abe K, Yasukawa K, Okunushi K, Hamada H, Tokuhara D, Clinical Research Network of the Wakayama Kawasaki Disease Study Group: Predicting coronary artery abnormalities development using coronary Z-score and clinical parameters before the treatment for Kawasaki disease, 14th International Kawasaki Disease Symposium, August 26th-29th, 2024, Montréal, Canada
 14. Kanai S, Oguri M, Okanishi T, Miyamoto Y, Maeda M, Yazaki K, Matsuura R, Tozawa T, Sakuma S, Chiyonobu T, Hamano S, Maegaki Y. Predictive modeling based on functional connectivity of interictal scalp EEG for infantile epileptic spasms syndrome. *Clin Neurophysiol.* 2024;167:37-48.

その他の論文（症例報告等）

1. 植村菜摘, 徳原大介, 柚山賀彦, 堀田優子, 川村智行, 濱崎考史. I型糖尿病に潰瘍性大腸炎を合併した1例. 小児内科. 56(9):1427-1432,2024
2. Yamamura-Miyazaki N, Sakakibara N, Nozu K, Shima Y, Satomura K, Yamamoto S, Baba M, Fujiwara K, Yamamoto K, Michigami T. Identification of CUBN variants in triplets with a 20-year history of proteinuria. CEN Case Rep. 2025 14:145-150. doi: 10.1007/s13730-024-00919-6.
3. 村松明日香, 田村 彰, 島 友子, 井中将吾, 篠崎浩平, 前田真範, 徳原大介. 当初エトスクシミド誘発性ループスが疑われたが,非定型良性部分でんかんを合併したと考えられた全身性エリテマトーデスの男児例. 小児科臨床 78 巻 1 号 Page69-73(2025.02)
4. Granulocyte morphological abnormalities and molecular diagnosis of SRP54 deficiency in severe congenital neutropenia. Hiroshi Tsujimoto, Shinji Kounami, Takayuki Ichikawa, Daisuke Tokuhara. Pediatr Int. 2025; 67: e15881. doi.10.1111/ped.15881
5. Bacillus Calmette Guérin Osteomyelitis of the Proximal Tibia Extending to the Pysis and Epiphysis in an Immunocompetent Toddler: A Case Report. Keisuke Takemoto, Shinji Kounami, Takashi Shimoe, Daisuke Fukui, Daisuke Tokuhara. Cureus 2025; 17(2): e78385. DOI 10.7759/cureus.78385

学会報告

a) 国際学会

1. Shima Y, Mukaiyama H, Tanaka Y, Shimabukuro W, Kaito H, Tanaka R, Nozu K, Iijima K, Tokuhara D, Yoshikawa N, Nakanishi K. Clinicopathological differences between young children and adolescents in childhood IgA nephropathy. The 57th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, October 24-27, 2024, San Diego, USA.
2. Horinouchi T, Kimura Y, Inoki Y, Ichikawa Y, Tanaka Y, Kitakado H, Ueda C, Sakakibara N, Nagano C, Yamamura T, Fujimura J, Kamiyoshi N, Ishimori S, Kaito H, Shima Y, Nakamura Y, Sakai A, Okugaito I, Nozu K, Iijima K. An increase in TCR/BCR repertoire clonality by prednisolone therapy and recovery of the diversity by rituximab in childhood idiopathic nephrotic syndrome. The 57th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, October 24-27, 2024, San Diego, USA.
3. Shima Y, Mukaiyama H, Tanaka Y, Shimabukuro W, Kaito H, Tanaka R, Nozu K, Iijima K, Tokuhara D, Yoshikawa N, Nakanishi K. Efficacy and safety of new combination therapy with prednisolone, mizoribine, and lisinopril for severe childhood IgA Nephropathy. The 20th International Pediatric Nephrology Association, February 21-24, 2025, Cape Town, South Africa
4. Kakimoto N. Cyclosporine A for Kawasaki Disease. 14th International Kawasaki Disease Symposium, August 26-29, 2024, Montreal, Canada
5. Kakimoto N, Hamada H, Shiko Y, Onouchi Y, Murayama Y, Ozawa Y, Hanaoka H, Hata A, Suzuki H. Risk factors for coronary artery abnormalities and resistance to immunoglobulin plus ciclosporin A therapy in severe Kawasaki disease: subanalysis of the KAICA trial. 14th International Kawasaki Disease Symposium, August 26-29, 2024, Montreal, Canada

b) シンポジウム, 学術講演等

1. 徳原大介: 小児肺炎球菌ワクチンによる IPD 予防の重要性-沈降 15 価肺炎球菌ワクチン(PCV15)の特徴と可能性. 小児肺炎球菌ワクチン座談会, 2024.4. 東京
2. 徳原大介: 見逃してはいけない治療可能な希少疾患. 第 128 回日本小児科学会学術集会, 2025.4. 名古屋
3. 徳原大介: 小児肺炎球菌ワクチン Up to date .和歌山小児科医学会学術講演会, 2024.4. 和歌山
4. 徳原大介: 小児の消化器肝臓診療の最近の話題. 第 91 回日本小児科学会滋賀地方会, 2024.5. 滋賀
5. 徳原大介: 小児肺炎球菌ワクチン Up to date .小児肺炎球菌ワクチンセミナーOsaka, 2024.6. 大阪
6. 徳原大介: 粘膜免疫からみる子どもの感染症とワクチン開発への展開. (大阪公立大学小児科同門会) 令和 6 年度朋仁会 小児疾患研究会, 2024.6.大阪

7. 徳原大介：RS ウイルスワクチンの現在，過去，未来．和歌山バイフォータス発売記念講演会，2024.8. 和歌山
8. 徳原大介：LAL-D の新生児スクリーニングに向けて「新生児期に見逃してはいけない治療可能な希少疾患」第 51 回日本マスキング学会学術集会，2024.8. 熊本
9. 徳原大介：小児肺炎球菌ワクチン/ HPV ワクチン Up to date .Vaccine Forum for Pediatrics .2024. 9. 山口(Web 開催)
10. 徳原大介：こどもの炎症性腸疾患〜くすりの使い方，食事・日常生活の送り方，予防接種について．小児の炎症性腸疾患講演会・交流会，2024.10. 和歌山
11. 徳原大介：小児肺炎球菌ワクチン Up to date .八戸市小児科医会学術講演会，2024.10. 青森
12. 徳原大介：小児肺炎球菌ワクチン/HPV ワクチン．第 15 回 MEP 懇話会，2024. 11. 広島
13. 徳原大介：PCV15 による小児肺炎球菌感染症の予防戦略．第 56 回日本小児感染症学会総会・学術集会，2024.11. 長崎
14. 徳原大介：粘膜免疫からみる腸内細菌の関わりと粘膜ワクチン開発への展開．小児腸内フローラ講演会，2024.11. 秋田(Web 開催)
15. 前田真範：こどもの「こころ」を守る地域包括的支援．連携の 1 例としての小児成育医療支援室．日本発達心理学会第 36 回大会，2025.2. 明星大学
16. 下山田洋三：障害児虐待の現状と課題．子育て支援フォーラム in 和歌山，2025.3. 和歌山市

c)全国学会

1. 森本章文，田村 彰，藁科佳代，中村真理，稲垣伸光，水本一弘：医療安全ラウンドを通しておこなう医療安全管理に対する取り組み．第 10 回日本医療安全学会，2024.4. 東京
2. 稲垣伸光，田村 彰，藁科佳代，中村真理，森本章文，水本一弘：医療安全管理者兼任臨床工学技士としての業務について．第 10 回日本医療安全学会，2024.4. 東京
3. 福井亜理沙，平山健太郎，市川貴之，鈴木崇之，利光充彦，杉本卓也，熊谷 健，神波信次，徳原大介：生下時より著明な肝脾腫を認め，肝生検にて一過性骨髄増殖症(TAM)の診断に至ったトリソミー21 の 1 例．第 127 回日本小児科学会学術集会，2024.4. 福岡市
4. 末永智浩，土橋智弥，鈴木崇之，垣本信幸，徳原大介，鈴木啓之，武内 崇：免疫グロブリン大量療法後に無菌性髄膜炎を発症した川崎病症例の検討．第 127 回日本小児科学会，2024.4. 福岡市
5. 垣本信幸，土橋智弥，鈴木崇之，末永智浩，徳原大介：大腿動脈仮性動脈瘤の乳児への超音波プローブ圧迫法の施行経験．第 127 回日本小児科学会，2024.4. 福岡市
6. 津田祐子，井中将吾，篠崎浩平，前田真範，田村 彰：側彎症矯正固定術の既往があり再発を繰り返す MOG 抗体関連疾患の 1 例．第 66 回日本小児神経学会学術集会，2024.5.-6.名古屋市
7. 岩本美紀，高橋朋香，宮脇正和，古田浩人，松岡孝昭，徳原大介：ABCC8 遺伝子ヘテロ接合性変異を同定し，オクトレオチド持続皮下注射にてコントロール良好な先天性高インスリン血症の 1 例．第 97 回日本内分泌学会学術集会ポスター発表，2024.6. 横浜市
8. 島 友子，向山弘展，田中 侑，島袋 渡，貝藤裕史，田中亮二郎，野津寛大，飯島一誠，徳原大介，吉川徳茂，中西浩一：小児 IgA 腎症蛋白尿寛解症例における血尿残存に関与する因子の検討．第 59 回日本小児腎臓病学会，2024.6. 福岡
9. 島 友子，向山弘展，田中 侑，中西浩一：発症時 eGFR<90 ml/min/1.73m² を呈する小児 IgA 腎症の臨床像．第 67 回日本腎臓学会学術総会，2024.6. 横浜
10. 和田達典，篠崎浩平，土山実可子，目佳耶子，小島史好，村田晋一，徳原大介：食道カンジダに小腸びらんと潰瘍性大腸炎様大腸内視鏡所見を呈した 1 例．第 51 回日本小児内視鏡研究会，2024.7. 和歌山
11. 酒井愛子，水上愛弓，濱田洋通，末永智浩，須磨崎亮，杉山真也：網羅的サイトカイン測定・動態解析から川崎病，MIS-C の病態を理解する．第 60 回日本小児循環器学会，2024.7. 福岡市
12. 濱田洋通，奥主健太郎，江畑良太，斉藤裕子，岡田清吾，河内遼，末永智浩，安川久美，酒井愛子，岡崎良知，布施茂登：川崎病患者に対する免疫調節療法の最適な適応基準を見出す特定臨床研究．第 60 回日本小

児循環器学会, 2024.7. 福岡市

13. 末永智浩, 土橋智弥, 鈴木崇之, 垣本信幸, 徳原大介, 西村好晴, 上松耕太, 鈴木啓之, 武内 崇, 澁田昌一: 幼児期に施行した心房中隔欠損閉鎖術が発育に与える影響. 第 60 回日本小児循環器学会, 2024.7. 福岡市
14. 利光充彦, 大星瑛希子, 川本大樹, 平山健太郎, 市川貴之, 鈴木崇之, 杉本卓也, 神波信次, 徳原大介: 和歌山県における拡大新生児マスキリーニング体制構築の進捗状況について. 第 51 回日本マスキリーニング学会学術集会, 2024.8. 熊本市
15. 辻本 弘, 田崎優子, 横山忠史, 日高義彦, 加藤規利, 和田泰三, 井上徳光: *CFH::CFHR1* 融合遺伝子と *CFHR3-1-4-2* 遺伝子重複を同定した非典型的溶血性尿毒症症候群の一家系. 第 60 回日本補体学会学術集会 2024.9. 大阪
16. 末永智浩, 土橋智弥, 鈴木崇之, 垣本信幸, 徳原大介, 鈴木啓之, 武内 崇: シクロスポリン初期併用療法の現状と課題. 第 44 回日本川崎病学会, 2024.10. 東京
17. 土橋智弥, 民谷繁幸, 中村有孝, 中橋理佳, 幸 義和, 藤橋浩太郎, 清野 宏, 佐藤慎太郎, 徳原大介: ノロウイルス様粒子-ザイモサン経鼻ワクチンは幼若期の口腔・腸管内に防御免疫を誘導 しノロウイルスを中和する. 第 51 回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会, 2024.10. 東京
18. 篠崎浩平, 和田達典, 福井亜理沙, 市川貴之, 神波信次, 高尾政輝, 土山実可子, 目佳耶子, 小島史好, 村田晋一, 徳原大介: 炎症性腸疾患様の病変を呈した慢性活動性 EB ウイルス感染症の 2 例. 第 51 回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会, 2024.10. 東京
19. 垣内俊彦, 田尻 仁, 岩間 達, 恵谷ゆり, 伊藤嘉規, 徳原大介, 羽鳥麗子, 平川賢史, 伊藤孝一, 細野覚代: B 型および C 型肝炎キャリア妊婦からの出生児に対する新たな取り組み. 第 56 回日本小児感染症学会総会・学術集会, 2024.10. 東京
20. 鈴木崇之, 北野尚美, 垣本信幸, 末永智浩, 澁田昌一, 武内 崇, 鈴木啓之, 阿部昂太, 安川久美, 奥主健太郎, 濱田洋通, 徳原大介, 和歌山川崎病研究会: 川崎病急性期に冠動脈 Z-score を用いて冠動脈病変発症を予測する: 多施設共同後方視研究. 第 44 回日本川崎病学会, 2024.10. 東京
21. 垣本信幸, 鈴木啓之, 樽谷 玲, 武内 崇, 末永智浩, 土橋智弥, 鈴木崇之, 澁田昌一, 猪野 靖, 田中 篤, 徳原大介: 川崎病遠隔期病変における *Vasa vasorum* と内膜肥厚の関連. 第 44 回日本川崎病学会, 2024.10. 東京
22. 岩本美紀, 高橋朋香, 宮脇正和, 臼井 健, 本間桂子, 長谷川奉延, 徳原大介: 新生児マスキリーニングを契機に診断した非古典型 21-水酸化酵素欠損症の 1 例. 第 57 回日本小児内分泌学会学術集会ポスター発表, 2024.10. 横浜市
23. 岩本美紀: SPS-4 子育てと仕事〜地域一般病院勤務の私の場合〜. 男女共同参画・ワークライフバランス委員会企画セッションワークライフバランスにもほどがある-昭和レジェンド世代, 平成ドリーム世代から令和ロマン世代まで-, 2024.10. 横浜市
24. 田村 彰, 水本一弘: 大学病院における虐待対策チームの取り組み. 第 83 回日本公衆衛生学会総会, 2024.10. 札幌市
25. 平山健太郎, 福井亜理沙, 川本大樹, 森岡久美子, 大星瑛希子, 土橋智弥, 鈴木崇之, 利光充彦, 杉本卓也, 合田太郎, 三谷泰之, 徳原大介: 蘇生後の安定した気道確保法を模索した気管無形成の 1 例. 第 68 回日本新生児成育医学会・学術集会, 2024.11. 長野県
26. 垣内俊彦, 田尻 仁, 岩間達, 恵谷ゆり, 伊藤嘉規, 徳原大介, 羽鳥麗子, 平川賢史, 伊藤孝一, 細野覚代: B 型および C 型肝炎キャリア妊婦からの出生児に対する新たな取り組み. 第 56 回日本小児感染症学会総会・学術集会, 2024.11. 長崎
27. 三谷泰之, 合田太郎, 利光充彦, 平山健太郎, 川本大樹, 徳原大介, 川井 学: 極および超出生体重児に発症した胆道閉鎖症 2 例の検討. 第 51 回日本胆道閉鎖症研究会, 2024.11. 大阪
28. 田實裕嗣, 南 弘一, 福元喜啓, 野田知秀, 芝崎嘉寿緒, 坪井直人, 日根野谷昇, 井下兼一朗: 重症心身障がい者における横隔膜・腹筋群の筋厚・筋輝度の加齢変化. 第 11 回日本小児理学療法学会学術集会, 2024.11. 福島市
29. 高尾政輝, 井口幹崇, 前北隆雄, 北野雅之, 徳原大介: 当院における小児内視鏡検査の現状. 第 113 回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2024.12. 大阪

30. 徳原大介：FALD の診断基準 2025. 「FALD 診療の手引き」を読み解く. 第 26 回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会, 2025.1. 大阪
31. 谷本貴志, 柏木 学, 黒井章央, 鈴木崇之, 垣本信幸, 末永智浩, 上松耕太, 西村好晴, 田中 篤：ACHD 患者の親なき後アンケートから見える課題. 第 26 回日本成人先天性心疾患学会, 2025.1. 大阪
32. 島 友子, 向山弘展, 田中 侑, 島袋 渡, 貝藤裕史, 田中亮二郎, 野津寛大, 飯島一誠, 徳原大介, 吉川徳茂, 中西浩一：小児 IgA 腎症における児童と青年の臨床病理学的差異の検討. 第 48 回 IgA 腎症研究会, 2025.1. 東京
33. 和田達典, 島 友子, 井中将吾, 松谷泰成, 田村 彰, 徳原大介：痙攣様発作を契機に判明した膀胱尿管逆流症・尿路感染症を合併した続発性偽性低アルドステロン症の 1 例. 第 61 回近畿小児腎臓病研究会, 2025.3. 神戸

d) 地方学会

1. 西野博之, 和田達典, 市川貴之, 津野 博, 辻本 弘, 神波信次, 徳原大介：腰痛で発症した縦隔原発古典的 Hodgkin リンパ腫の 1 例. 第 197 回日本小児科学会和歌山地方会, 2024.6. 和歌山市
2. 垣本信幸, 土橋智弥, 利光充彦, 杉本卓也, 田村 彰, 徳原大介：和歌山県における小児科の災害対策の現状について. 第 197 回日本小児科学会和歌山地方会, 2024.6. 和歌山市
3. 脇村光郁, 大星瑛希子, 川本大樹, 平山健太郎, 土橋智弥, 鈴木崇之, 利光充彦, 杉本卓也, 合田太郎, 三谷泰之, 川井 学, 徳原大介：仙尾部奇形腫の 1 例. 第 197 回日本小児科学会和歌山地方会, 2024.6. 和歌山市
4. 岩本美紀, 辻 知見, 武内 崇：乳幼児健診の尿検査を契機に診断された幼児 1 型糖尿病の 1 例. 第 197 回日本小児科学会和歌山地方会, 2024.6. 和歌山市
5. 山本 祐, 栗並樹里, 佐藤 匡, 原田 智, 林 宏昭, 木岡直美, 中西直之, 宮下律子：特発性中枢性尿崩症の 1 例. 第 197 回日本小児科学会和歌山地方会. 2024.6. 和歌山市
6. 和田達典, 篠崎浩平, 徳原大介：食道カンジダに小腸びらんと潰瘍性大腸炎様大腸内視鏡所見を呈した 1 例. 第 197 回日本小児科学会和歌山地方会, 2024.6. 和歌山市
7. 石井宏弥, 鈴木崇之, 垣本信幸, 末永智浩, 徳原大介, 上松耕太, 西村好晴, 味村亮祐, 三宅雄一, 佐藤大樹, 園村哲郎：重症 Ebstein 奇形を背景に持つ患児に側副血行路コイル塞栓術を施行し Fontan 手術を行った 1 例. 第 92 回和歌山医学会総会, 2024.9. 和歌山市
8. 末永智浩, 垣本信幸, 土橋智弥, 鈴木崇之, 徳原大介：大腿動脈仮性動脈瘤に対して超音波プローブ圧迫法を施行した乳児の 1 例. 第 92 回和歌山医学会総会, 2024.9. 和歌山市
9. 藺畑勇佑, 永坂元基, 青野朋子, 毛利暢宏, 兜金雅子, 南 弘一, 小松勝幸, 井上兼一郎, 野田知秀：和歌山病院リハビリテーション科における地域医療に対する取り組み～神経発達症を抱える子どもに対しての外来リハビリテーションを開始して～. 第 78 回国立病院総合医学会, 2024.10. 大阪市
10. 田實裕嗣, 南 弘一, 福元喜啓, 野田知秀, 芝崎嘉寿緒, 坪井直人, 日根野谷昇, 井下兼一朗, 小松勝幸：重症心身障がい児・者における体幹筋筋厚・筋輝度と肺炎発症との関連～縦断観察研究～. 第 78 回国立病院総合医学会, 2024.10. 大阪市
11. 利光充彦, 池田由香, 額田貴之, 儘田光和, 徳原大介：RS ウイルスに対するニルセビマブ(ベイフォータス)の使用について～和歌山県におけるコンセンサスの確立を目指して～. 第 198 回日本小児科学会和歌山地方会, 2024.10. 和歌山市
12. 平山健太郎, 福井亜理沙, 川本大樹, 森岡久美子, 大星瑛希子, 土橋智弥, 鈴木崇之, 利光充彦, 杉本卓也, 合田太郎, 三谷泰之, 徳原大介：蘇生後の安定した気道確保法を模索した気管無形成の 1 例. 第 198 回日本小児科学会和歌山地方会, 2024.10. 和歌山市
13. 大石 元, 高橋朋香, 井中将吾, 篠崎浩平, 五嶋文彦, 津野嘉伸, 徳原大介：偽性副甲状腺機能低下症の 1 例. 第 198 回日本小児科学会和歌山地方会, 2024.10. 和歌山市
14. 末永智浩, 土橋智弥, 鈴木崇之, 垣本信幸, 鈴木啓之, 武内 崇, 上田美奈, 向山弘展, 徳原大介：心機能低下をきたした小児多系統炎症性症候群の 2 例. 第 198 回日本小児科学会和歌山地方会, 2024.10. 和歌山市

15. 西野博之, 和田達典, 市川貴之, 神波信次, 徳原大介, 辻本 弘, 津野 博: 腰痛で発症した縦隔原発古典的 Hodgkin リンパ腫の 1 例. 第 47 回近畿小児血液・がん研究会, 2025.2.8 神戸市
16. 井中将吾, 篠崎浩平, 前田真範, 田村 彰, 徳原大介: 急性弛緩性運動麻痺を呈した乳児ボツリヌス症の 1 例. 第 199 回日本小児科学会和歌山地方会, 2025.2. 和歌山市
17. 田中 侑, 西川香瑠, 小森有紀, 上田美奈, 森山智美: A 群 β 溶連菌による咽後膿瘍の 1 例. 第 199 回日本小児科学会和歌山地方会, 2025.2. 和歌山市
18. 村松明日香, 原田知里, 垣本信幸, 芳山 恵: 心膜炎を合併したマイコプラズマ肺炎の 1 例. 第 199 回日本小児科学会和歌山地方会, 2025.2. 和歌山市
19. 酒見大輝, 鈴木 景, 米良深雪: 低カルシウム血症によるけいれん群発を契機に発見された特発性副甲状腺機能低下症の 1 例. 第 199 回日本小児科学会和歌山地方会, 2025.2. 和歌山市
20. 大井晶子, 海邊靖大, 竹本圭佑, 魚谷周平, 比嘉明日美, 澁田昌一, 宮脇正和: ベーチェット病の主症状で受診し Lipschutz 潰瘍と診断した 1 例. 第 199 回日本小児科学会和歌山地方会, 2025.2. 和歌山市
21. 前田真範, 井中将吾, 篠崎浩平, 田村 彰, 鍛冶川順葉, 深尾大輔, 徳原大介: 選択的血漿交換が有効だった抗神経抗体陰性自己免疫性脳炎の 1 女児例. 第 199 回日本小児科学会和歌山地方会, 2025.2. 和歌山市
22. 井中将吾, 篠崎浩平, 前田真範, 田村 彰, 徳原大介: Guillain-Barré 症候群と鑑別を要した乳児ボツリヌス症の 1 例. 第 38 回近畿小児科学会, 2025.3. 大阪
23. 平山健太郎, 福井亜理沙, 川本大樹, 森岡久美子, 大星瑛希子, 土橋智弥, 鈴木崇之, 利光充彦, 杉本卓也, 合田太郎, 三谷泰之, 徳原大介: 蘇生後の安定した気道確保法を模索した気管無形成の 1 例. 第 38 回近畿小児科学会, 2025.3. 大阪市
24. 大石 元, 高橋朋香, 井中将吾, 篠崎浩平, 五嶋文彦, 津野嘉伸, 徳原大介: 偽性副甲状腺機能低下症の 1 例. 第 38 回近畿小児科学会, 2025.3. 大阪市

その他(研究会等)

1. 津野嘉伸: ダウン症候群の医療管理・今後の展望について. 日高臨床医勉強会, 2024.4 御坊市
2. 末永智浩: 学校心臓検診で見つかる疾患 心室期外収縮. 2024 年度那賀医師会学術講演会, 2024.4. 和歌山
3. 末永智浩, 土橋智弥, 鈴木崇之, 垣本信幸, 徳原大介, 鈴木啓之, 武内 崇, 上田美奈, 向山弘展: 心機能低下をきたした小児多系統炎症性症候群の 2 例. 第 28 回和歌山小児循環器談話会, 2024.5. 和歌山
4. 垣本信幸, 土橋智弥, 鈴木崇之, 末永智浩, 徳原大介, 上松耕太, 藤本貴大, 西村好晴: 失神をきたした右冠動脈バルサルバ起始症, 二尖大動脈弁, 大動脈弁狭窄症の 10 歳男児に対して外科的介入を施行した 1 例. 第 28 回和歌山小児循環器談話会, 2024.5. 和歌山
5. 津野嘉伸: 子どもの病気 御坊市ファミリー・サポート・センター「そらまめサポート」2024 年度 第 1 回子育て応援連続講座, 2024.6. 美浜町中央公民館, 美浜町
6. 利光充彦: 和歌山県における拡大新生児マスキング体制構築の進捗状況について～2024.6 月版～. 第 3 回新生児マスキングセミナー in Wakayama. 2024.6. (ハイブリッド開催)
7. 南 弘一: 医療的ケア児を地域で支えるために 令和 6 年度御坊・日高圏域自立支援協議会子ども部会, 2024.6. 御坊保健所
8. 鈴木 景, 和田達典, 魚谷周平, 比嘉明日美, 澁田昌一, 宮脇正和, 大石 興: 妊娠中のプロテイン摂取に関連した食物蛋白誘発胃腸症の 1 例. 第 335 回紀州地区小児臨床懇話会, 2024.8.
9. 末永智浩, 土橋智弥, 鈴木崇之, 垣本信幸, 徳原大介, 西村好晴, 上松耕太, 鈴木啓之, 武内 崇, 澁田昌一: 幼児期に施行した心房中隔欠損閉鎖術が発育に与える影響. 第 26 回和歌山小児臨床研究会, 2024.9. 和歌山
10. 神波信次: 小児がん医療を知って下さい. 世界小児がん啓発キャンペーン in 和歌山, 2024.9. 和歌山市
11. 山家宏宣: 抗菌薬の使用の実際 ～薬剤耐性(AMR)と抗菌薬適正使用～ 那賀医師会勉強会, 2024.9. 公立那賀病院 紀の川市
12. 利光充彦: 和歌山県における拡大新生児マスキングの現状～2024.9 月版. 遺伝疾患 Web セミナー

in 和歌山～拡大新生児マスキングの今を語る～, 2024.9.(Web)

13. 米良深雪：当科での血友病症例，血友病診療連携について．武田薬品 Hemophilia Semina, 2024.9.
14. 山家宏宣：抗菌薬の使用の実際 ～薬剤耐性(AMR)と抗菌薬適正使用～ 那賀薬剤師会勉強会, 2024.10. 公立那賀病院 紀の川市
15. 高橋朋香：成長曲線から見る甲状腺疾患．和歌山小児内分泌セミナー・ミニレクチャー, 2024.10. 和歌山市 (ハイブリッド開催)
16. 南 弘一：重症児者の命と生活を守るために私たちができること 全国重症心身障害児(者)を守る会, 令和6年度近畿ブロック研修会, 2024.11. 和歌山ビッグ愛 和歌山市
17. 山家宏宣：子どもの身体の発育と病気 いわで・きのかわファミリーサポート病児預かり対応保育スタッフ養成講座 2024.11. 中貴志コミュニティセンター 紀の川市
18. 末永智浩：成人先天性心疾患の患者さんが幸せであるために．和歌山県難病・こども保健相談支援センター主催小児の心疾患講演会・交流会, 2024.11. 和歌山
19. 岩本美紀：乳幼児健診における「病的なO脚」．和歌山小児科医学会学術講演会ミニレクチャー, 2024.11. 和歌山市 (ハイブリッド開催)
20. 五嶋文彦, 大石 元, 津野嘉伸：異なる経過をたどった糸球体疾患の2例．日高地方小児科懇話会, 2024.11. 御坊市
21. 大石 元, 五嶋文彦, 津野嘉伸：同胞に家族歴のある先天性甲状腺機能低下症の1例．日高地方小児科懇話会, 2024.11. 御坊市
22. 津野嘉伸：子どもの病気 御坊市ファミリー・サポート・センター「そらまめサポート」2024年度 第2回子育て応援連続講座, 2024.11. 御坊市役所, 御坊市
23. 垣本信幸, 土橋智弥, 鈴木崇之, 末永智浩, 徳原大介, 関係各病院担当医師：令和5年10月1日から令和6年9月30日までに発症した和歌山県内及び関連病院の川崎病アンケート調査．第39回和歌山川崎病研究会, 2024.12. 和歌山
24. 末永智浩, 土橋智弥, 鈴木崇之, 垣本信幸, 徳原大介, 鈴木啓之, 武内 崇：シクロスポリン初期併用療法の現状と課題．第39回和歌山川崎病研究会, 2024.12. 和歌山
25. 鈴木崇之, 北野尚美, 垣本信幸, 末永智浩, 澁田昌一, 武内 崇, 鈴木啓之, 阿部昂太, 安川久美, 奥主健太郎, 濱田洋通, 徳原大介, 和歌山川崎病研究会：川崎病急性期に冠動脈Z-scoreを用いて冠動脈病変発症を予測する：多施設共同後方視研究．第39回和歌山川崎病研究会, 2024.12. 和歌山
26. 酒見大輝, 鈴木 景, 米良深雪：低カルシウム血症によるけいれん群発を契機に発見された特発性副甲状腺機能低下症の1例．第336回紀州地区小児臨床懇話会, 2024.12.
27. 島 友子：尿検査にまつわるエトセトラ(3歳児検尿を中心に)．和歌山小児科医学会, 2024.12. 和歌山
28. 前田真範, 中井康雄, 井中将吾, 篠崎浩平, 田村 彰, 津田祐子：てんかんと精神症状の管理に難渋している結節性硬化症例からの検討．和歌山てんかん研究会, 2025.1.(Web)
29. 岩本美紀, 井辺美香, 古宮 圭, 玉井昌紀, 進藤直子, 小林正人, 菌部真里, 小林昌和：尿糖スクリーニング検査 20年間の結果の推移及びコロナ禍の影響の検討．和歌山市医師会学童糖尿病検診委員会, 第56回和歌山学校医研修会, 2025.1. 和歌山市
30. 利光充彦, 大星瑛希子, 和田達典, 川本大樹, 平山健太郎, 鈴木崇之, 杉本卓也, 徳原大介：和歌山県における拡大マスキングの現状．第61回和歌山周産期医学研究会, 2025.2. 和歌山市
31. 津野嘉伸, 利光充彦, 合田太郎, 三谷泰之, 杉本卓也, 上田美奈, 熊谷 健, 川井 学, 徳原大介：胎便関連性腸閉塞症を発症した極低出生体重児における外科的手術予測因子の検討．第61回和歌山周産期医学研究会, 2025.2. 和歌山市
32. 利光充彦, 南 佐和子：2023年和歌山周産期調査結果．第61回和歌山周産期医学研究会, 2025.2. 和歌山市
33. 利光充彦：拡大NBSで診断され，生後3か月からERTを開始したMRSⅡ型の1例．LSD在宅酸素補充療法/地域連携セミナー, 2025.2.(Web)
34. 岩本美紀, 井辺美香, 古宮 圭, 玉井昌紀, 進藤直子, 小林正人, 菌部真里, 小林昌和：尿糖スクリーニング検査 20年間の結果の推移及びコロナ禍の影響の検討．和歌山市医師会学童糖尿病検診委員会 第73回

近畿医師会連合学校医研究協議会総会, 2025.2. 奈良市

35. 末永智浩, 土橋智弥, 鈴木崇之, 垣本信幸, 徳原大介, 鈴木啓之, 武内 崇: シクロスポリンは初期から併用するべきか, 3rd line まで待つべきか. 第 49 回近畿川崎病研究会, 2025.3. 大阪

研究費交付状況

1. 令和 6 年度学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)課題番号 22K07942 研究課題名: 酵母由来ザイモサンによる乳幼児に適した経鼻型ノロウイルスワクチンの開発 研究代表者: 徳原大介
2. AMED「小児のウイルス性肝炎の経過及び治療選択に関する研究」研究分担者: 徳原大介
3. 令和 6 年度学術研究助成基金助成金 若手研究「フォンタン術後肝線維化の新規バイオマーカーの探索」研究代表者: 趙 有季
4. 令和 6 年度学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)課題番号 23K07300 研究課題名: 小児 IgA 腎症, 紫斑病性腎炎における糖鎖異常 IgA1 及びその特異的 IgG の関与 研究代表者: 島友子, 分担研究者: 中西浩一
5. 令和 6 年度学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)課題番号 23K09628 研究課題名: Down 症候群の移行期医療の課題解明および情報共有ツールの開発 研究代表者: 杉本卓也
6. AMED「川崎病患者に対する免疫調節療法の最適な適応基準を見いだす探索的国際コホート研究」研究分担者: 末永智浩
7. 令和 6 年度学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)課題番号: 20K08190 研究課題名: 網羅的 micro-RNA 解析による川崎病遠隔期冠動脈病変リモデリング機序の解明 研究代表者: 垣本信幸, 研究分担者: 鈴木啓之, 武内 崇, 末永智浩, 鈴木崇之, 土橋智弥
8. 令和 6 年度学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)課題番号: 24K10983 研究課題名: 網羅的 micro-RNA 解析による川崎病性冠動脈瘤リモデリング機序の解明と治療応用 研究代表者: 垣本信幸, 研究分担者: 鈴木啓之, 武内 崇, 末永智浩, 鈴木崇之, 土橋智弥
9. 令和 6 年度学術研究助成基金助成金 若手研究 課題番号: 24K18896 研究課題名: 川崎病および川崎病冠動脈瘤発症における自然免疫様リンパ球の役割の解明 研究代表者: 鈴木崇之
10. 令和 6 年度学術研究助成基金助成金 若手研究 課題番号: 20K16900 研究課題名: シクロスポリン腎毒性を非侵襲的に評価するバイオマーカープロファイリングの構築 研究代表者: 田中 侑
11. 令和 6 年度若手研究支援助成 研究課題名: 乳幼児に対する新規粘膜ワクチンアジュバントとしてのザイモサンの作用機序の解明 研究者: 土橋智弥